

令和2年度 学校関係者評価結果

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<p>地域連携・PTA活動、学習指導、進路指導、生活指導、生徒会活動、学校保健、総合学科</p>
<p>自己評価結果について</p>	<p>いずれも、妥当な自己評価結果である。</p>
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した課題の提示や新学習指導要領に対応した授業改善を進める。 ・ 生徒の進路実現をサポートするため、進路説明会を始めとする情報提供に関する様々な取組を充実させる。 ・ 携帯電話、スマホなどにおけるSNSの使い方に関して、継続して指導していく。 ・ コロナ禍でも学校行事は生徒会役員が運営できるようにする。 ・ 個々の生徒に多くの教員がかかわるよう教育相談を充実させる。 ・ 学校説明会などを通して、南陽高校の魅力を発信していく。 ・ 地域の誇りとなる学校を目指すため、地域やPTAと連携し、様々な教育活動を充実させる。 ・ 教職員の多忙化を解消するため、働き方改革を進める。
<p>その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年はコロナ禍で地域行事が中止になってしまったが、来年は工夫して実施するので、是非協力してほしい。 ・ 米作りをし、販売したり、調理したりといった授業は、農業の六次産業化が謳われる中で有効な取り組みである。 ・ 今年度はいろいろな行事が形を変えることにはなったが、実施できてよかった。 ・ 体育祭も三密を回避できるよう工夫してやっていたのがよかった。 ・ コロナ禍の中で、先生方も家庭、学校に感染が広がらないように努力をされてきた。ご苦労様です。 ・ 「あいちのかおり」を育て、収穫して、販売した。パッケージ等を含めて、物にはいろいろな人が携わっていることを生徒が体験できてよかった。 ・ 18歳成人となるこれからは、生徒が主体となって地域や企業と接触する時代になると思われるが、南陽高校は既に地域や企業とつながり、いろいろな活動ができており、大変良い。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成 ……学校評議員6名（PTA会長を含む。） ・ 評価時期……令和2年9月16日（水）、11月11日（水） 令和3年2月10日（水）